

# 2022（令和4）年度活動実績



学生支援センター

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室 特命准教授 栗林 睦美

## 1 障害のある学生の修学支援の企画、運営、評価に関すること

- (1) 日本学生支援機構（Japan Student Services Organization：以下、JASSO）：障害学生修学支援ネットワークにおける拠点校業務  
JASSO が事務局となり、障害のある学生への支援に積極的な取組を行っている大学を「拠点校（富山大学（以下、本学）を含む9大学）」としている。
  - ・2022年度は、全国の大学（7大学）から障害学生支援に関する拠点校相談に回答。相談内容としては、障害学生支援体制や障害者差別解消法に基づく職員対応要領について、私立大学の合理的配慮の義務化や内部障害のある学生への対応について、障害学生への具体的な支援方法について等であった。3月に、相談内容をまとめてJASSOに提出した。
  - ・第1回障害学生委員会が2022年11月24日（木）にオンラインで開催され、委員として出席し、セミナー、シンポジウム等の方向性について検討した。
  - ・「令和4年度（2022年度）障害のある学生の修学支援に関する実態調査」の依頼があり回答した。
- (2) 発達障害のある高校生の大学体験プログラム「チャレンジ・カレッジ」の企画・運営
  - ・本プログラムは、本学が先駆的に取り組み、実施してきたものであるが、他大学にも広がりつつあることや、障害学生支援の多様化への対応などを踏まえて、新たな内容や開催形態を検討するため、2022年度は実施せず、7月13日（水）アクセシビリティ・コミュニケーション支援室（以下、支援室）HPにてその旨を報告した。
- (3) アクセシビリティマップ（バリアフリーマップ）、その他パンフレット改訂及びHP更新、改訂
  - ・本学のアクセシビリティマップは、障害の有無にかかわらず本学を利用する多くの方に向けて、アクセシビリティの状況を伝えることができるよう汎用性のあるものではあるが、毎年、五福、高岡、杉谷の3キャンパスの現状を調査し、更新している。
  - ・2022年度は、アクセシビリティに配慮した出入口の情報を、QRコードをマップに載せることによって、より利用しやすいように改訂した。併せて、バリアフリー改修が必要と思われる箇所について調査し、まとめて報告した。
  - ・支援室HP及びパンフレットについて、現状に合わせて、加筆修正を加え、更新、改訂した。
- (4) オープンキャンパスにおける個別相談業務
  - ・2022年7月、8月に五福、高岡、杉谷キャンパスで開催されたオープンキャンパスで、障害のある方を対象に個別相談窓口を設置して相談を実施した。2022年度は、計3件の相談があり、対応した。

#### (5) 大学連携

- ・ 障害と高等教育に関するプラットフォーム形成事業 (Platform of Higher Education and Disability : PHED)  
(代表校：東京大学、連携校：筑波大学、本学)  
2022年5月：QIとCBIを用いた新任研修を受講した。  
2022年7月：オンライン会議での振り返りに一部参加した。

#### (6) 支援室の視察の受け入れ

- ・ 2022年9月1日(木) 高岡法科大学(2名)
- ・ 2022年12月1日(木) 信州大学(2名)
- ・ 2023年3月7日(火) 京都文教大学(2名)

### 2 障害のある学生の修学支援についての教育、研究及び社会貢献に関すること

#### (1) 学会活動

全国高等教育障害学生支援協議会主催のAHEAD JAPAN 第8回(2022年)大会に参加した。

日時：2022年9月5日(月) PM

場所：京都大学 吉田キャンパス 国際科学イノベーション棟  
オンサイト企画(対面企画)

内容：・トークセッション「オンライン受講と合理的配慮」  
・ネットワーキングセッション  
・AT(支援機器)ライブラリー

#### (2) 本学における講義及びFD研修会

##### ① 講義

- ・ 2022年7月19日(火) 2限、教養教育科目「学士力・人間力基礎(総合科目)：学生生活の基礎5～共生社会の形成～」を担当した。
- ・ 2022年7月22日(金) 5限・6限、経済学部 初年次教育授業科目「障害とアクセシビリティ」を担当した。

##### ② FD研修会

- ・ 2022年9月14日(水) 経済学部FD研修会(オンラインでの開催)の講師として講演した。  
表題「コミュニケーションを苦手とする学生(場面緘黙、自閉症スペクトラム)への理解について」、研修会の参加者は約60名。
- ・ 2022年11月9日(水) 主任コーディネーターが講師として講演する理学部FD研修会(オンラインでの開催)に室員として参加した。  
表題「発達障害学生に対する支援について～学部との連携の在り方～」、研修会の参加者は約50名。

### 3 障害のある学生の修学支援における合理的配慮の提供に関すること

#### (1) 障害学生の面談業務について

##### ・ 支援室

身体障害学生支援部門とトータルコミュニケーション支援部門は本学における障害学生支援コア組織(2007年設立)として学内にある保健管理センターや学生相談室等、他の相談部署と連携しながら、身体障害及び発達障害、精神障害のある学生の修学支援、就職活動支援を中核的に行っている。

・関係教職員

本支援室の構成：室長、副室長、特命教員（筆者）、  
コーディネーター3名（内、主任コーディネーター含む）、  
事務補佐員の7名。

障害学生支援に携わる相談員：4名（コーディネーター、筆者）

・2022年度、筆者の面談業務

担当学生：18名（支援室全体の支援数は100名超）

面談（対面・オンライン）頻度：各学生週1回（60分）

内容：修学支援、学生生活、就労支援、自己理解・障害受容、合理的配慮の在り方等の  
検討（必要に応じて配慮依頼文書を作成）

各部局、学内専門窓口、教員、保護者との連携方法：面談、メール、電話等。

延べ支援数（面談、オンライン面談、電話、メール）：約400件

(2) 受験希望者からの事前相談（配慮申請）に対して行った部局への対応

- ・入試課、各部局に対して、障害のある入学志願者からの配慮申請や修学上の配慮について、専門的知見に基づき意見を陳べた。

(3) 修学上の配慮を要する新入生情報の集約

- ・受験上の配慮を受けて合格した生徒及び保護者へ支援室より連絡し、面談等の対応をした。
- ・健康調査票で修学上の配慮を希望した生徒及び保護者へ支援室より連絡し、面談等の対応をした。
- ・オープンキャンパスの「障害のある方の事前相談窓口」で相談し、その後合格し連絡があった生徒及び保護者、合格後HPを見て支援室に連絡があった生徒及び保護者と面談等の対応をした。

(4) 修学上の配慮を要する新入生に関する教養教育院との情報共有

- ・入学前面談後、障害学生本人の了承を得て、教養教育院と情報共有し、必要に応じて、配慮依頼文書を作成した。

#### 4 障がいのある学生の就職支援に関する業務

地域就労支援機関との連携強化及び障害のある学生のインターンシップ受入れ先企業の開拓

- ・2022年8月1日（月）企業A（オンライン）  
企業B（オンライン）
- ・2022年12月6日（火）就労移行支援事業所C（オンライン）

#### 5 アクセシビリティ・コミュニケーション支援室の組織コーディネートに関する業務に関すること

(1) シェアミーティング及び運営会議の企画・運営

- ・2022年度、筆者、コーディネーター1名が入職し、新規体制となった。新たに運営会議を設け、シェアミーティングの運営の在り方、支援室の組織運営等について、室長、副室長、筆者、主任コーディネーターで協議する場とした。運営会議は2022年8月まで毎週月曜日に1～2時間程度実施し、9月以降はシェアミーティングの開催日程に合わせ、適宜実施した。
- ・シェアミーティングは室長、副室長、筆者、主任コーディネーター、コーディネーター3名の6名で実施。2022年8月までシェアミーティングは、毎週木曜日に1時間程度、

2022年9月以降は、月1回とし、以下2点について情報を共有、伝達、業務進捗を確認することに対して、共通理解を図った。

＜シェアミーティングの目的＞

①支援室行事、業務の情報共有（進捗状況の報告等）

②学生支援における重要ケースの検討・共通理解

- ・運営にあたり、シェアミーティングの日程調整、案件の確認、レジュメの作成、必要に応じて連絡事項の回覧や teams への掲載等を行った。

## (2) 支援学生の情報共有

- ・支援学生の情報共有として、通常時、ハイリスクな兆候を感じた時、緊急な事案が発生した時に場合分けし、連絡体制図を作成し、担当者間で共通理解を図った。また、タイムリーな情報共有の場として、毎朝、簡単な打合せの時間を設けた。
- ・相談受付システムを2022年度より導入し、システム管理を担当した。

## (3) 障害学生支援ミーティングの企画・運営・報告

- ・構成員は、支援室7名、五福、高岡、杉谷の各キャンパスから3名の室員（教員）、学生支援課長、課長補佐とした。
- ・2022年度は、障害学生支援ミーティングをオンラインで4回（6月1日、9月8日、12月5日、2月14日）開催した。障害学生支援状況、支援ケースの報告、その他支援室の活動報告としてピアサポート活動状況（聴覚障害学生への情報保障、ピアサポートセミナー等）について、各キャンパスの室員から報告を受け、意見の交換を行った。
- ・障害学生支援ミーティングの日程調整、実施計画の作成、各コーディネーターへのケース報告の依頼、会議資料のとりまとめと送付、当日の運営を行った。
- ・「障害学生支援ミーティング記録」を作成し起案を行い、障害学生支援ミーティングで了承後、学生支援センター会議に議案として提出した。

## 6 その他

### (1) 学内委員会・会議

- ・教育・学生支援機構会議委員
- ・教育・学生支援企画室ミーティングメンバー
- ・学生支援センター会議委員
- ・ダイバーシティ推進センター会議委員

### (2) 各種研修やセミナーへの参加

- ・2022年8月10日（水）令和4年度新任教員研修
- ・2022年8月30日（火）学内ハラスメント防止等に関する研修
- ・2022年9月12日（月）令和4年度研究者キャリアアップ研修会
- ・2022年9月14日（水）学内入試改革に関する有識者講演会
- ・2022年12月5日（月）令和4年度ダイバーシティシンポジウム
- ・2023年2月21日（火）令和4年度ダイバーシティ・セミナー
- ・2023年3月2日（木）令和4年度研究不正防止研修会

### (3) 学外業務

- ・2022年10月31日（月）全国障害学生支援センター「大学案内障害者版」の調査の回答